

報道資料

令和 8 年 9 月 2 9 日

京 丹 後 市 役 所

令和 8 年度日米共同統合演習「Keen Sword27」について（お知らせ）

京丹後市内における令和 8 年度日米共同統合演習「Keen Sword27」の実施について、近畿中部防衛局から別紙のとおり情報提供等がありましたのでお知らせします。

また、地元区（宇川連合区、袖志区、尾和区、中浜区、竹野区）に対しては、近畿中部防衛局により説明が行われています。

なお、本市ではこの情報提供を受け、口頭により以下の点について、近畿中部防衛局に対して強く要請しています。

記

- ・住民の安全対策をしっかりと行うこと。
- ・通学時間帯における車両通行については十分配慮すること。
- ・早朝・夜間の訓練を行う場合、騒音には十分配慮すること。
- ・住民に不安を与えないようにすること。

【本件に関する問い合わせ先】

近畿中部防衛局企画部地方調整課環境対策室

電話：06-6945-4956

●発信元

京丹後市総務部総務課基地対策室

TEL：0772-69-0714

担当：蒲田



JAPAN JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和8年9月29日
統合幕僚監部

令和8年度日米共同統合演習 「Keen Sword 27」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和8年度日米共同統合演習を実施します。
本訓練は、強固な日米同盟に基づき、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図るものです。
本演習を通じ、自衛隊と米軍は、地域の平和と安定に積極的に貢献するための態勢と能力を維持・強化していきます。

記

1 演習の目的

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和8年10月19日（月）～10月29日（木）

3 実施場所

- (1) 自衛隊施設並びに在日米軍施設及び区域
- (2) 民間空港及び港湾
- (3) 我が国の公有地及び民有地等
- (4) 我が国周辺海空域

4 統裁官

- (1) 自衛隊 : 統合作戦司令官 海将 俵 千城
- (2) 米 軍 : 太平洋艦隊司令官 海軍大将 ステファン・ケーラー

5 主要訓練項目

- (1) 統合防空ミサイル防衛訓練
- (2) 共同統合対艦戦闘訓練
- (3) 陸上作戦訓練
- (4) 海上作戦訓練
- (5) 航空作戦訓練
- (6) 水陸両用作戦訓練
- (7) サイバー攻撃等対処訓練
- (8) 情報戦訓練
- (9) 統合通信訓練

- (10) 宇宙状況の把握等に関する訓練
- (11) 統合電磁波作戦訓練
- (12) 統合後方運用訓練
- (13) 機動分散運用訓練
- (14) 重要施設等防護訓練
- (15) 実証実験

6 実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 幕僚監部等

統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団等

オ 共同の部隊

統合作戦司令部、自衛隊情報保全隊、自衛隊サイバー防衛隊、自衛隊海上輸送群等

(2) 外国軍隊

ア 米 軍

太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊及び在日米軍

イ 豪 軍

国防軍統合作戦本部等

ウ その他

加軍、仏軍、独軍、蘭軍、新軍、比軍

7 演習参加規模（自衛隊）

人員約45,000名、車両約6,100両、艦艇約40隻、航空機約260機

8 その他

日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、おおむね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しており、実動演習は今年度で18回目である。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

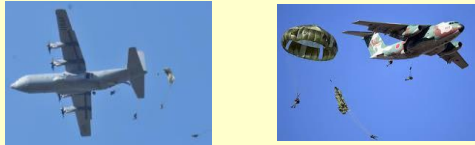
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信
- 重要施設等防護（基地警備等）



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 京都府内における訓練について

本演習において京都府内で実施する訓練は、

- ① 通信訓練
- ② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
- ③ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

京都府内で実施を計画している訓練内容

① 通信訓練

陸上自衛隊の部隊が日本海沿岸部に展開し、各部隊による通信訓練を実施します。
なお、実弾及び空砲は使用しません。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木）※訓練期間を通じて夜間訓練を実施予定。

【参加部隊】 陸上自衛隊：第3師団 約185名（車両 約60両、UH-1ヘリコプター1機）※夜間は飛行しません。

訓練予定場所



訓練イメージ



京都府内で実施を計画している訓練内容

③ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が米軍及び空自基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。
なお、実弾は使用しません（空包は使用いたします。）。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※ 訓練期間を通じて夜間訓練を実施予定。
【参加部隊】陸上自衛隊：第3師団 約220名（車両 約80両）※短SAM、大型車両を含みます。
（UH-1ヘリコプター 1機）※夜間は飛行しません。
航空自衛隊：第35警戒隊 約50名
米陸軍：第14ミサイル防衛中隊 約20名

訓練予定場所



訓練イメージ

